

学校経営方針

【学校教育目標】

「よりよい自分・学校・社会をめざし、主体的に学び、協働する山階南」
～自分大好き 友だち大好き 学校大好き 山階南の仲間たち～

【めざす子ども像】 ○笑顔いっぱい 元気な子

○力を合わせて 活動する子

○一生懸命 努力する子

【めざす教職員像】 ○授業実践力の向上に努め、自らを高めようとする教職員

○児童理解に努め、根気強く取り組む教職員

○自らの人権感覚を磨き、高い人権意識を有する教職員

○学び合い、高め合い、相談し合える教職員

【めざす学校像】 ○子どもが意欲をもって生き生きと活動する学校

○教職員が切磋琢磨して子どもを育くむ学校

○保護者・地域と力を合わせてよりよい社会を創造する学校

【重点取組】

(1) 学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育む

- ①基礎基本の定着
- ②「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる授業の展開（めあて・まとめ・振り返り）
- ③授業改善の視点での校内研修・研究協議の充実
- ④保護者や地域の方々との連携により子どもの社会性を育む。

(2) 毎日の家庭学習により、主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図る

- ①授業と連動させた毎日の家庭学習の積み重ねによる自学自習の習慣化。
- ②家庭学習について家庭との連携・協力を図る。
- ③子ども自らが予習・復習を意識して課題を選択し、学習計画を立てることができるようする。

(3) 自他を大切にする態度を育成する。

- ①命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など、子どもの豊かな人間性の育成を図る。
- ②人権尊重の精神を基盤に、互いに認め合い、励まし合う集団作り。
- ③「命を守る」視点から健康の保持増進や望ましい生活習慣の実践、危険な行為から身を守る方法、いじめは絶対に許されない人権侵害であることなどについて指導を徹底する。

(4) 「公共の精神」に基づく態度を育成する。

- ①「社会に開かれた教育課程」の展開により、人と人の絆や人のために役立つことの大切さを実感し、社会の一員として必要な公共心や公徳心、生命を尊重する心を育てる。
- ②規範意識を高め、自分で正しい判断ができるようになるための素地を育てる。
- ③よりよい自らの生活や人生、そして、地域・社会の実現に向け、自らの行動で課題を解決したり社会貢献したりするなど社会の形成に主体的に参画する意識と行動力を育む。

学校運営の柱　～全教職員が進める確かな学校教育～

- 1 子どもの命を守りきる
- 2 すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める
- 3 教育者として職責を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革を進める
- 4 校種間連携。接続を推進する
- 5 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- 6 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する
- 7 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する